

村上・岩船地域自立支援協議会/権利擁護部会

権利擁護の理解・浸透 研修会報告

日時：2024年9月12日（木）14時～16時10分

場所：村上市生涯学習推進センター（マナボーテ村上）大中共議室

新潟TS(トラブルシューター)竹田一光事務局長を講師にお招きしての研修会。障がい福祉サービス事業所の経験3年未満の方から中堅、管理層まで30名の参加がありました。

研修テーマは「応える」～だれもがともに生きる社会のために～。人権を守ることと、その対極にある虐待について、「どうやったら虐待しないで支援できるかを考えましょう！」と講師からの投げかけで始まりました。

なぜ、虐待、つまり不適切な対応をしてしまうのでしょうか？それは…適切な対応ができないから＝適切な対応の仕方を知らないから。

「それは、支援の敗北です。」とバツサリ。では、どうやったら虐待せずに支援できるのでしょうか。

大切なのは「気づき」と「想像力」と「流されず自分の頭で考えること」と「勇気」。

そしてPDCAを回すこと。

その一方で、「ただただ業務としてやる、マニュアルに従ってやる、そういうやり方をしていると何の面白

さも感じないのでは。」との障がい福祉に係る先達である（福）南高愛隣会 田島良昭氏の言葉を引用し、本来の法人のミッション(理念と哲学)を実現していくことこそが最大の虐待防止になる～虐待防止の要は、日々の支援で職員一人ひとりが「私は何のために毎日この仕事を行っているのか？」の最終目標(ゴール)を意識して仕事ができるか？に行き着くと付け加えた上で、「最初からの“虐待者”はいない。だから…私たち自身もいつなんどき

虐待する側になるかわからないこと…を意識できることが大切だ。」と述べられました。結びに、「あとは村上の皆さんにバトンタッチしますよ。」と、他人事ではなく、自分事として捉えていくよう諭されましたが、まさにそれは、“見て見ぬ振りせず、出会ったトラブルに自覚的に係わる”TS活動に通じるものであると思われました。

障がい者福祉の現場経験も知識も豊富な方ゆえ発する一言一句が心に響く重みの感じられるものであり、参加者各位の明日からの実践が望まれるものとなりました。



～グループワークを見守る竹田一光講師～



村上・岩船地域自立支援協議会 かわら版

～このまちに住んで良かったと言える地域づくりを目指して～

第24号（令和7年3月発行）

〈委員の方々のご紹介・リレートーク〉

今回は「学校法人北都健勝学園監事 小野敏子さん」です。



—学生を育む地域の皆様に感謝—

岩船上の山にある北都健勝学園に就職して20年以上になります。「リハビリテーション専門学校」から始まり、大学、法人本部を経て、現在は法人監事を仰せつかっております。

以来、学生達とはすれ違いの際の挨拶程度が中心となりましたが、明るい笑顔や明瞭な話しぶりにホっとすることが多くなりました。

「協議会」施設関係者の方々には、実習・ボランティア活動等々で、多大なご指導を賜って参りました。心から御礼申し上げます。

学生は地域に育てられる、地域で育つということは以前から実感していたことですが、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

学生たちには、より広い視野と適切な用語の認識を持ってもらいたいという欲があります。この度、アメリカ新大統領はWHO（世界保健機関）の脱退を表明しましたが、直ぐ修正案を出しました。関わる多くの職種や役割がますます浸透しなくなるのではないかと心配しております。

子どもは、辛抱強く長い目で、可能性を秘めた学生たちを側面援助していきたいと願っております。

今後、一層のご指導、ご援助をお願いする次第です。

～村上・岩船地域自立支援協議会 事務局～

◎村上市障がい者基幹相談支援センター 村上市三之町1番1号

☎0254-75-5830

◎関川村役場 健康福祉課 岩船郡関川村大字下関912番地

☎0254-64-1472

◎粟島浦村役場 保健福祉課 岩船郡粟島浦村字日ノ見山1513番地11

☎0254-55-2111

◎関川村社会福祉協議会 岩船郡関川村大字上関1244番地1

☎0254-64-1400